

平成30年度選手強化・育成事業（選手強化助成）収支決算書

記入例

部

1 事業 平成30年度選手強化・育成事業（選手強化助成）
2 収入の部

高体連補助金	388,000 円
個人負担金	51,500 円
競技団体等負担金	208,330 円
計	647,830 円

補助金内訳

旅費 ... 288,000円

消耗品代

役務費 } 100,000円

泊数が少ない等で、宿泊費が
規定の金額(この例では288,000円) より少ない場
合のみ、運賃を補助金に計上出来る。

3 支出の部

科目	金額 (円)	内 訳		
		高体連	個人負担	競技団体等
報償費 (謝金)				
運賃	48,000			48,000
講師・引率教諭 (日当を含む)	8,000			8,000
選手	40,000			40,000
宿泊費	412,500	288,000		124,500
講師・引率教諭	82,500	48,000		34,500
選手	330,000	240,000		90,000
食料費	51,500		51,500	
消耗品代	45,360	40,000		5,360
役務費	10,470	10,000		470
使用料	70,000	50,000		20,000
保険料	10,000			10,000
計	647,830	388,000	51,500	208,330

@4千×3泊×4人

@4千×3泊×20人

消耗品代・役務費・
使用料の補助金合計
で100,000円にな

(注) 領収書等の証拠書類の添付について

- 1 講師の謝金及び講師・引率教諭の運賃・宿泊費は、受領印を押印した領収書を添付してください。
- 2 選手の運賃・宿泊費は、指導者代表の受領印を押印した領収書を添付してください。
(宿泊所の領収書も添付してください。)
- 3 その他の領収書は、別紙にすべてそろえて貼付してください。
- 4 科目の分別しにくい領収書は、右肩に科目（消耗品費等）を鉛筆書きしてください。

※記入例では、引率教諭4人、選手20人の場合の補助金で表示しています。
各部の補助人数・補助金にあてはめて計算してください。